

平成30年度 学校だより



潮 鳴 り

平成30年9月7日(木) No. 6
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:
onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

2学期のスタートに「御一小のみんな、ありがとう！」

残暑厳しい中の8月28日の始業式、体育館に集まった子どもたちと先生たちを前にして思わず「御一小のみんな、ありがとう」と言いたくなりました。そのように、心から思わせてくれる子どもたちの一生懸命なまなざしに包まれた風景でした。

今年の夏は、本当に暑かったですね。報道では「酷暑」という言葉が飛び交い、観測史上初といわれる40度近くの気温、台風や大雨による災害等々、不安や憂いを増幅させることが続きました。夏休みのプール開放も中止にさせていただきました。そんな中、子どもたちは、安全で健康に夏休みを過ごし、登校してくれました。当たり前のことですが、それがありがたい。長い休みの期間に病気になったりけがをしたり、苦しいことや悲しいことがあった子もいたと思います。でも、みんな学校に来てくれた、それがうれしい。そして、1学期の終業式での約束「みんな元気に2学期の始業式で会おう」という約束を守ってくれたことが、心からうれしくなり、口をついて出た言葉が「御一小のみんな、ありがとう」でした。その陰には、御家庭の皆様や地域の皆様の声かけと見守りがあったからこそです。ありがとうございました。

始業式から4日間ほど、各学級で『夏休みの挑戦の花発表会』が行われました。夏休みに咲かせたそれぞれの『挑戦の花』である、学習や作品や頑張りを一人一人が発表をしました。どの発表も子どもたちの思いや願いが込められたすてきな挑戦の花でした。また、発表を聞いている子どもたちの『聞いてみたいこと』も楽しくて、教室の後ろや廊下から見ている、思わず笑ってしまうことや



「その視点があったか」と感心させられることがたくさんあり、聞き手を意識して説明する力とともに、話し手の内容を意識して聞き、主体的に考えて質問する力が身についたことを感じました。実は、この「主体的な姿」は、2020年度から始まる新学習指導要領で、大切に育てたい力の一つです。本校の重点目標「自分から みんなで」にもつながる力です。様々な事柄に対して「自分事」に考え、自分から判断し行動する力が「主体性」です。2学期も授業や行事を連動させながら、この主体性をはぐくむ学校をみんなで作っていきたいと考えます。学校はあるものではなくつくるものであると、元大阪市立大空小学校校長の木村康子さんは言っています。私も大いに共感しています。

9月22日(土)の運動会に向けた練習が始動しました。表現運動の練習、徒競走の練習に力が入っています。6年生を中心に応援の企画も進んでいます。協力の空気を流し、みんなで作る運動会を目指して子どもたちも教職員も頑張っています。御家庭の皆様や地域の皆様の温かな励ましと応援をお願いいたします。そして、練習の過程からの子どもたちの『花』をたくさん見つけて価値つけてください。



(校長 増田久美子)